

榎本立雄先生 略歴



<学歴>

昭和47年 4月
明星大学 理工学部 電気工学科入学
昭和51年 3月
明星大学 理工学部 電気工学科卒業 [工学士]
平成 3年 4月
明星大学 理工学研究科 電気工学 修士課程入学
平成 5年 3月
明星大学 理工学研究科 電気工学 修士課程修了
[修士 (電気工学)]
平成21年 4月
Microsoft Certified Technology Specialist
(MCP:Microsoft Certified Professional)

<職歴>

昭和51年 4月 東和販売株式会社 開発部 技術職員 (昭和57年3月まで)
昭和57年 4月 東和タイプライター株式会社 設計開発部 技術職員 (昭和59年3月まで)
昭和60年 4月 明星大学 情報科学研究センター 助手 (平成11年3月まで)
平成11年 4月 明星大学 一般教育 自然分野 専任講師 (平成20年3月まで)
平成20年 4月 明星大学 情報学部 自然分野 専任講師 (平成21年3月まで)
平成21年 4月 明星大学 情報学部 自然分野 准教授 (平成22年3月まで)
平成22年 4月 明星大学 教育学部 教育学科 准教授 (平成28年3月まで)「情報リテラシー a、情報リテラシー a、情報リテラシー b、情報リテラシー b、自立と体験2」担当
平成28年 4月 明星大学 教育学部 教育学科 教授 (現在に至る)「情報リテラシー a、情報リテラシー a、情報リテラシー a、情報リテラシー a、情報リテラシー a、情報リテラシー a【再】、情報リテラシー a【再】、情報リテラシー b、情報リテラシー b、情報リテラシー b、情報リテラシー b、情報リテラシー b【再】、情報リテラシー b【再】、自立と体験2」担当

<学会及び社会における活動等>

現在所属している学会

電子情報通信学会

昭和62年 1月 電子情報通信学会 (国内学会) 会員 (現在に至る)
昭和63年 その他 (大学からの依頼) 入試統計処理システム (平成23年まで)
平成13年 6月 明星大学同窓会 IT担当理事 (平成19年5月まで)

平成14年	明星大学同窓会ホームページ作成と運用管理（現在に至る）
平成14年	首都大学野球連盟ホームページ作成と運用管理（平成25年まで）
平成15年 4月	首都大学野球連盟 IT 委員（平成20年3月まで）
平成16年 6月	明星大学同窓会 情報担当副会長（平成19年5月まで）
平成17年 4月	個人研究 インターネット技術を活用した授業支援システム構築の研究及び開発（現在に至る）
平成17年 4月	個人研究 事務電算処理に於けるネットワーク構築の研究、イントラネット技術を活用した情報交換システムの構築（平成19年まで）
平成17年 4月	個人研究 大学通信教育における遠隔学習システムの構築（平成18年まで）
平成19年 6月	明星大学同窓会 情報担当副会長 再任（平成21年5月まで）
平成20年 4月	首都大学野球連盟 理事（平成28年3月まで）
平成21年	個人研究 ネットワーク制御を搭載した緊急通報装置の開発（研究分担者）（平成22年まで）
平成22年 4月	明星大学同窓会 情報担当副会長 再任（平成24年5月まで）
平成24年 4月	個人研究 小・中・高等学校における情報教育の研究（研究代表者）（現在に至る）
平成25年 6月	明星大学同窓会 情報担当副会長 再任（平成28年5月まで）
平成28年 6月	明星大学同窓会 総務担当副会長 再任（令和元年5月まで）

<教育研究業績>

[研究分野]

教育工学、情報学基礎、ソフトウェア

[教育方法の実践例]

Webを活用した出席・課題提出状況の情報提供	平成10年～平成16年
通信教育生に対する簡易eラーニングの利用	平成16年 7月～平成19年
インターネット技術を活用した授業支援システムの利用（学生用、教員用、TA・SA用）	平成17年～現在に至る
インターネット技術を活用した授業支援システムの利用（リニューアル）	平成19年～現在に至る
Webを活用した授業支援システム	平成20年～現在に至る
インターネット技術を活用した授業支援システムの利用（リニューアル）	平成20年～現在に至る
Webによるコンピュータ演習室の出席状況表示システムの構築	平成21年～平成30年3月まで
教育用自律型ロボットの作成と競技会を通して、科学する心とものづくりへの関心を高める（自立と体験2）	平成22年 4月～平成24年 3月
小学生向けのプログラミング教材（Scratch：スクラッチ）の体験と授業への応用方法の研究	平成24年 4月～現在に至る
教育学部教育学科の卒業研究論文のWeb提出をmoodle2を使用したシステムの構築と	

運用	平成26年 4月～平成30年3月まで
LMS (学習管理システム) である moodle2 を使用した TA・SA 用の授業支援システムの構築と運用	平成26年 8月～平成30年3月まで
LMS (学習管理システム) である moodle2 を使用した学生用の授業支援システムの構築と運用	平成26年 8月～平成30年3月まで
LMS (学習管理システム) である moodle2 を使用した教員用の授業支援システムの構築と運用	平成26年 8月～平成30年3月まで

[作成した教科書, 教材]

BASICの演習	平成 2年 8月
BASICの入門	平成 3年 4月
教師のためのコンピュータ・リテラシー	平成 6年 8月
コンピュータ入門	平成 9年 9月
プレゼンテーションのためのコンピュータ入門	平成10年 4月
基礎から学ぶパソコンリテラシー	平成11年 4月
情報処理入門	平成12年 3月
コンピュータ入門	平成14年 3月
新版コンピュータ入門	平成15年 4月
教育方法学Ⅱ 「Excelを用いた成績管理処理におけるパソコン活用」	平成15年 7月
これだけで分かる！パソコン入門	平成16年 4月
教育方法学Ⅱ 「Excelを用いた成績管理処理におけるパソコン活用」(増補改訂版)	平成16年 7月
簡易eラーニング教材	平成16年 7月
情報リテラシー	平成17年 4月
情報リテラシー改訂版	平成18年 4月
情報リテラシー第3版	平成19年 4月
情報リテラシー第4版	平成20年 4月
情報リテラシー第5版	平成21年 4月
情報リテラシー新版	平成22年 4月 1日
情報リテラシー (Windows7・Office2010対応版)	平成23年 4月 1日
情報リテラシー (Windows7・Office2010対応版) 第2版	平成24年 4月 1日
情報リテラシー (Windows7・Office2010対応版) 第3版	平成25年 4月 1日

[その他]

Word講習会	平成12年 8月
Excel講習会	平成12年12月
ホームページ講習会(初級)	平成13年 6月
ホームページ講習会(中級)	平成13年 7月
ホームページ講習会(上級)	平成13年10月

[資格, 免許]

Microsoft Certified Technology Specialist (MCP:Microsoft Certified Professional)

平成21年 4月30日

[その他]

入試処理システムの開発 昭和62年～現在に至る
明星大学公開講座 平成11年11月
八王子市学園都市振興会主催のパソコン講習会 平成12年 8月
日野市IT技能講習会 平成13年 4月～平成13年 7月
育星会の「初めてのパソコン教室」 平成19年 3月
教員免許状更新講習(初心者のための情報リテラシー) 平成24年～現在に至る
「楽しく学ぶプログラミング」～2020年小学校でも必修化～ 講演
平成30年10月19日
あきる野市立草花小学校にて「mBotの操作、他ICTの活用について」研究発表会
令和 3年 5月19日
あきる野市立草花小学校にて「mBotの操作、他ICTの活用について」研究発表会2回目
令和 3年 6月 9日
あきる野市草花小学校(4年生3クラス)プログラミング授業
令和 4年 2月24日～令和 4年 2月25日

<著書>

1. BASICの演習 共著 平成2年5月 信濃印刷
2. BASICの入門 共著 平成3年4月 明星出版
3. 教師のためのコンピュータリテラシー 共著 平成6年8月 創真出版
4. コンピュータ入門 共著 平成9年9月 東京教学社
5. プレゼンテーションのためのコンピュータ入門 単著 平成10年
6. プレゼンテーションのためのコンピュータ入門 共著 平成10年4月 東京教学社
7. 基礎から学ぶパソコンリテラシー 共著 平成11年4月 東京教学社
8. 情報処理入門 共著 平成12年3月 東京教学社
9. コンピュータ入門 共著 平成14年3月 東京教学社
10. 新版コンピュータ入門 共著 平成15年4月 東京教学社
11. 教育方法学Ⅱ Excelを用いた成績管理処理におけるパソコン活用(増補改訂版) 単著 平成16年
12. これだけで分かる! パソコン入門—Word&Excel活用術— 共著 平成16年4月 東京教学社

<学術論文>

1. 入試統計処理システム 単著 平成5年3月 明星大学研究紀要(理工学部 第29号), 37頁
2. 事務処理におけるパーソナルコンピュータの利用 単著 平成6年3月 明星大学

- ミュー (15), 19頁
3. 教育研究用コンピュータ・ネットワークシステム 共著 平成8年11月 明星大学
ミュー (19), 17頁
 4. パソコンによる遠隔会議システムの活用 共著 平成10年3月 明星大学研究紀要
(理工学部 第34号), 27頁
 5. 大学入試におけるマーク式解答用紙の自動採点処理システムの構築 単著 平成17
年(41), 13頁
 6. 携帯電話による野球試合速報システムの構築 単著 平成18年(42), 1頁
 7. RHYTHM ANALYSIS OF THE MUSIC THAT JAPANESE WOMEN MARA-
THON RUNNERS USED FOR EMOTIONAL OPERATION 共著 平成20年10月
Full Researches of 4th ICHPER.SD Meddle East Regional Congress pp.69-77頁
(The 4th ICHPER. SD Middle East Regional Congress)
 8. 大学初年次教育における情報リテラシー教育の課題—ICTスキルの二極化問題と情
報モラル問題に焦点を当てて—(査読付) 共著 平成30年3月 明星大学大学院
教育学研究科 年報 第3号(3), 39-70頁
 9. 大学初年次教育における情報リテラシー教育の検討—情報モラル教育の在り方を
中心に—(査読付) 共著 令和2年3月 明星大学大学院 教育学研究科 年報 第5
号(5), 35-42頁

<その他>

1. マイクロコンピュータを用いた編集機能付き電子式邦文タイプライタ“LAM80R”の
試作 共著 昭和57年3月(電気学会全国大会)
2. マイクロコンピュータを用いた編集機能付き電子式邦文タイプライタ“LAM80R”の
試作 昭和57年3月 電気学会全国大会
3. 簡便な電子式邦文タイプライタの試作 共著 昭和57年3月(電気学会全国大会)
4. 簡便な電子式邦文タイプライタの試作 昭和57年3月 電気学会全国大会
5. 電子式邦文タイプライタの変則的縦横番地印圧読み取り方法の試作 共著 昭和62
年4月(電気学会全国大会)
6. 電子式邦文タイプライタの変則的縦横番地印圧読み取り方法の試作 昭和62年4月
電気学会全国大会
7. 多人数教育における言語教育用CAIシステムの開発 単著 平成元年
8. 遠隔教育におけるパソコン会議システムの実験と評価 共著 平成8年11月(日本科
学教育学会) 11(2)
9. 遠隔教育におけるパソコン会議システムの実験と評価 平成8年11月 日本科学
教育学会
10. 生活の中のコンピュータ 単著 平成11年(父兄会報)
11. 顕微鏡で見えないウイルス 単著 平成15年 31
12. 教育方法学Ⅱ Excelを用いた成績管理処理におけるパソコン活用 単著 平成15年
7月
13. トータル・クオリティ・ライティング(TQW)特訓コース 共著 平成15年8月

(ヒューマンインターフェイス学会)

- 14 トータル・クオリティ・ライティング (TQW) 特訓コース 平成15年8月 ヒューマンインターフェイス学会
- 15 情報リテラシー 共著 平成17年4月 (明星出版)
- 16 情報リテラシー改訂版 共著 平成18年4月 (明星出版)
- 17 情報リテラシー第3版 共著 平成19年4月 (明星出版)
- 18 情報リテラシー第4版 共著 平成20年4月 (明星出版)
- 19 情報リテラシー第5版 共著 平成21年4月 (明星出版)
- 20 ネットワーク制御を搭載した緊急通報装置の開発 共著 平成21年11月 第13回 学術講演会 講演論文集 (日本福祉工学会) 第13回
- 21 ネットワーク制御を搭載した緊急通報装置の開発 平成21年11月 日本福祉工学会 (東京都日野市 明星大学)
- 22 情報リテラシー新版 共著 平成22年4月 (明星大学出版部)
- 23 情報リテラシー (Windows7・Office2010対応版) 共著 平成23年4月 (明星大学出版部)
- 24 情報リテラシー (Windows7・Office2010対応版) 第2版 共著 平成24年4月 (明星大学出版部)
- 25 情報リテラシー (Windows7・Office2010対応版) 第3版 共著 平成25年4月 (明星大学出版部)
- 26 大学初年次教育における情報リテラシー教育の在り方について—明星大学新入学生の情報リテラシーに関する基礎的調査— 共著 平成31年3月 明星大学大学院教育学研究科 年報 第4号 (明星大学) (4)

榎本立雄先生のご定年に寄せて

菱 山 覚一郎

榎本立雄先生は、本学の教育学部における教員養成だけでなく、情報教育全般を長く支えてこられた。本学の理工学部を卒業した榎本先生は、情報関連の民間企業での技術職を経て、昭和60年に本学の情報科学研究センターに転職されてきた。同センターでは、本学の情報システムの構築と学生に対する情報教育に力を注いでこられた。当時は、同センターの仕事もこなしながら、自らの研究のために理工学部の大学院にも籍を置かれた経験を持つ。以後は、一般教育や情報学部・そして教育学部の教員として、大学の運営・教育・研究という3つの分野を担われてきたのである。

榎本先生が、本学へ転職された頃、まだ情報教育という分野は、教育学の世界ではあまり注目されておらず、むしろ機器に教育は出来ないという考え方が主流であった。そんな中において、榎本先生は、これからの教育及び社会には情報機器の操作・情報の価値の理解・情報モラルの意識などが必要となると判断し、将来を見通した学生指導を展開し続けてきた。現在では、情報教育やICT活用は、教師だけでなく、現代を生きる社会人に必須と言えるだろう。しかし、昭和60年前後までは、パソコンを使うとか、プログラムを組むというのは、一部のマニアックな人の趣味と捉えられていた。そのような分野を大学教育に導入するというのは、強い信念が無くてはできなかったはずである。もちろん教科書や参考書などもほとんど無い時期、榎本先生は自ら教材を作成し、それらを活用しながら、初期から現在までの本学の情報教育を支え続けた。現在では本学の全ての学生が、情報機器に触れ、情報活用能力を育み、向上させる授業を履修する。その基礎を作ったのは、間違いなく榎本先生なのである。

平成22年に本学に教育学部が創設されると榎本先生は、同学部の小学校コースの教員として、教員養成にも力を注がれた。入学してくる学生が、全て自身の後輩ということもあり、親身に学生達と接する姿が印象に残っている。学生達が企画する行事などの世話や、学習活動などでは、自分が手助けする部分と、学生側に任せる部分とを明確に意識して、常に学生を育てる目線を持っていた点などは、大いに学ばせてもらった。また、自身が担当する情報関連の実習系の授業では、卒業生や大学院生をアシスタントとして雇用し、彼らに学生指導や支援の方法を教えている姿も印象的であった。実際、榎本先生の元でアシスタントを経験した後輩達が、複数の大学などで教壇に立っている。またここ数年は、地域貢献活動にも力を注ぎ、地域の小学校や教育委員会と連携したプログラミング教育の支援でも積極的な活躍をみせてくれた。

榎本先生は、「私は理工系の人間だから、話し下手なんです」と、折に触れて「控え目」

に主張されているが、周囲の教員及び学生は、そのようには感じていない。授業だけでなく、各種ガイダンスなどにおいても、上手に聴衆を引きつける技術は有している。榎本先生自身が、「控え目」な性格のため、先のような発言に結び付くのであろう。しかし、全ての学生が学ぶ情報教育の構築、教職課程での情報関係のリテラシー教育の展開、後進の育成など、それらは決して「控え目」な実績ではないと誰もが感じている。

榎本先生の本学での生活は、学生時代を含めると40年を超える。本学の歴史を知り尽くし、また自ら歴史を作ってきた人物である。榎本先生のご定年は、教育学部のみならず本学のスタッフ一同、寂しい限りである。しかし、幸いなことに榎本先生は、本学の卒業生であり、同窓会の役員でもある。様々な機会に支援と指導を頂くことは可能だろうと、本学関係者は考えている。今後は、好きな機械いじりやカーライフを楽しみながら、本学及び後輩達を見守っていただくと同時に、ご指導ご鞭撻を期待している。